1.8–3 GHz RF増幅・2出力分配モジュール



LCLNAPD-1800-3000-2-1は1800–3000 MHzをカバーします。原資料の機能図はIN1を増幅器経由でOUT1とOUT2へ接続しています。表の代表値は利得30 dB、飽和出力8 dBm、符号付き入力S11 −10 dBです。各出力への割り当ては規定されていません。雑音指数、出力平衡、アイソレーションは未規定で、Psatは線形出力定格ではありません。

資料の外形は50 × 40 × 13 mm、RF端子はSMA-Kメス、DCは貫通給電と独立した接地片です。代表電源5 V、電流100 mA。電源7 Vと入力12 dBmは絶対最大値です。動作−40～+70 °C、保存−40～+85 °C。組み込み前に物理コネクタ位置と取り付け条件を確認してください。

電気仕様

項目	値	単位
動作周波数	1800–3000	MHz
利得	30 (代表値)	dB
飽和出力電力（Psat） [1]	8 (代表値)	dBm
入力S11（資料の符号付き値） [2]	−10 (代表値)	dB
電源電圧	5 (代表値)	VDC
動作時電流	100 (代表値)	mA

[1] 飽和出力Psatであり、P1dBや保証線形出力ではありません。

[2] 資料の負のS11表記を保持し、正のリターンロスに変換しません。

絶対最大定格

項目	値	単位
電源電圧の絶対最大定格	≤7 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 7 VDC.)	VDC
入力電力の絶対最大定格	≤12 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 12 dBm.)	dBm
動作温度	−40–+70	°C
保存温度	−40–+85	°C

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF入力コネクタ	SMA-Kメス
RF出力コネクタ	SMA-Kメス
DC電源端子	貫通コンデンサ

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
接地端子	接地金属片
RF入力端子数	1
RF出力端子数	2
信号経路	1入力を増幅後に2出力へ分配

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	50 × 40 × 13	mm

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。